

宗内寺院紹介 15

世良田山 長楽寺



長楽寺の創建は古く、承久三年（一二二二）徳川義季公を開基、臨済宗の栄朝禪師を開山として建立された。当寺は、東日本で最初の禅寺とされているが、後鳥羽上皇から賜った関東最初禅窟という勅額が、それを物語っている。以来時代の権力者たちの庇護の下、繁栄を続けたが、戦国時代、岩松氏の没落により寺は衰退の一途をたどった。時が流れ江戸時代に入ると、徳川家発祥の地として、將軍の命を受けた天海大僧正が臨済宗から天台宗に改め寺を復興し、寺領として三百石を与えられ、末寺七百余りを有する関東天台宗の寺院の中でも中心的な寺院と成り、その繁栄は明治に入るまで続いた。

国の重要文化財宝塔一基、紙本墨書長楽寺文書百十五点、絹本墨画出山釈迦図一幅など、その他県重要文化財を数多く所有する寺院である。



世良田山 長楽寺

住所 / 〒370-0426 群馬県太田市世良田町3119-6
電話番号 / 0276-52-1035